

兵庫県

## 母子だより



## ひとり親 Hyogo

■編集・発行：一般財団法人兵庫県婦人共励会  
ひとり親 Hyogo

■発行人：後藤和子  
神戸市中央区下山手通5丁目7-11  
Tel.078-341-7372 Fax.078-341-7384



## ●令和5年新春メッセージ

兵庫県知事 齋藤元彦  
一般財団法人兵庫県婦人共励会 理事長 後藤和子

## ●野外活動

## ●合格者の声(夢を応援基金)

●まるまるおしゃべり会 ●入居者案内

●令和4年度 兵庫県母子・寡婦福祉大会

●令和5年度行事予定 ●相談窓口

## ●●● 令和5年新春メッセージ ●●●

## 躍動する兵庫、新時代への挑戦

兵庫県知事 齋藤元彦



新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が広がりを見せてから3年が経過しました。これまでの経験と教訓を活かしながら、感染防止対策と社会経済活動を両立させるウィズコロナの時代に入ったと言えるでしょう。一方、混迷するウクライナ情勢等を背景にした物価高騰や円安が、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。

こうした変化の大きな時代だからこそ、受身になることなく、新たな挑戦を起こすことが大切ではないでしょうか。令和5年は「躍動する兵庫」の実現に向け、果敢にチャレンジする年にしたいと思います。

その一つは、新たな産業活力の創出です。中小企業やスタートアップが持っている既存の技術と地域課題とのマッチングを広げ、新たなイノベーションを生み出します。また、水素エネルギーの利活用や中小企業のCO<sub>2</sub>排出量削減の支援強化など、脱炭素社会に向けた取組を加速させます。ドローンや空飛ぶクルマなどの次世代モビリティの社会実装にも挑みます。

また、兵庫が関西と瀬戸内の結節点にあるという好立地を活かし、両エリアをつなぐ大交流圏の形成をめざします。大

阪・関西万博が開催される2025年には、瀬戸内国際芸術祭も開催される予定です。県内各地をパビリオンに見立てて誘客する「フィールドパビリオン」を核に、関西圏域とは万博に関連した連携事業を、瀬戸内圏域とは芸術・文化等をテーマにした連携事業を行えるよう、着実に準備を進めていきます。

若者の学びの場も充実させます。県立高校等において、魅力・特色あるカリキュラムの充実やICT化を進めることに加え、生徒ファーストの視点で、老朽化が進む学校の施設・設備や部活動の用具・備品等を改善します。中高生からのアントレプレナーシップ(起業家精神)教育も推進し、課題解決に主体的に取り組む力を伸ばします。

県政の推進にあたって、今年ももっとも大切にする姿勢は、現場主義の徹底と対話の重視です。私自身、引き続き積極的に県内各地域に足を運び、医療や交通、観光、教育など様々な課題について県民の皆さまと対話をし、施策につなげていきます。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## これからの共励会に向けて

一般財団法人兵庫県婦人共励会 理事長 後藤和子



昨年は冬季オリンピックやFIFAワールドカップが有観客で開催され、ウィズコロナの時代になりました。

昨年11月20日には手指の消毒、マスク着用をしっかりと守り、「令和4年度兵庫県母子寡婦福祉大会」を実開催と同時にリモートでも行いました。

西山先生には「ヤングケアラーについて」の講演をしていただきましたが、子どもたちに負担がかからない社会にしていかなければならないと思います。

女性の貧困、ひとり親家庭の貧困問題は深刻になってきていますが、全国母子寡婦福祉団体協議会の統一テーマ「つながり人の輪、守ろう地域の輪」を基に、共励会では、ひとり親が

抱えているいろいろな課題と一緒に考え、同じ立場の者が協力し合い、少しでもよりよい日々が送れるように努力していきなりたいと思います。

兵庫県では、弁護士による相談事業も行っております。令和4年度は母子・父子自立支援員の方を対象にリモートで研修を行いました。困ったこと、相談したい事があれば、県の健康福祉事務所や市の母子・父子自立支援員さんのところに行ってみてください。

今後もひとり親がかかえる問題点を一緒に考えて対処していきたいと思っています。



## 野外活動



洲本

令和4年10月30日に母子会員と寡婦役員で親子リース作りを会議室にて行いました。リース作りはとても好評で講師の先生が用意してくださったパーツは可愛らしくて、子どもたちも夢中でがんばって作っていました。そんな姿を隣に座っているお母さんが微笑んでみている様子もとても印象的でした。

また、ハロウィンのかわいいお菓子を一緒に食べて、親子、また会員同士で交流を深め、楽しい素敵な時間を過ごすことができました。



三木

令和4年8月6日、7日の2日間、日帰りでネスタリゾート神戸に行きました。本当なら最後の旅行なので、ディズニーランドへ行く予定でしたが、コロナで行けなくなり、変更して近場にしました。参加家族が思ったより少なかったですが、行かれた方は2日間楽しかったという意見が多く、良かったと役員一同ほっとしました。

長い間、お世話になり有難うございました。

令和4年8月21日「ひとり親家庭親子のつどい」として大型バスを貸切り、観光旅行を実施しました。

行先は、「海鮮せんべい但馬」、「大江戸温泉」、「城崎マリンワールド」でした。

バスの中では、バスガイドさんによるゲームで和やかに楽しくすごしました。バスの外は、小雨が降っていて山や野原の木々がより色鮮やかに感じました。

大江戸温泉では、ランチバイキングを満喫しました。種類も多く視覚も満たされました。城崎マリンワールドには、さ

西脇



まざまな海洋生物の展示・ショーがありました。中でもペンギンの散歩は想像以上に愛らしく、みなさん優しい笑顔になっていました。少し荒々しかった海もかわいい海の生き物たちとの出会いもすべて素敵な思い出になりました。

朝から子どもたちのキラキラした目と親御さんたちのうれしそうな顔を見て、実施できてよかったと思いました。

楽しい一日の思い出と、この日に出会った仲間との交流が、これからの生活の力になると思います。

令和4年6月5日、京丹後市網野町にある花郷OKADAに於いて野外活動を開催しました。

甲子園球場グラウンドの5倍以上の面積を誇る75,000㎡の広大な花公園で、バラのアーチをくぐり抜けると開放感たっぷり美しい景観を楽しむ事が出来ました。

色鮮やかな美しいバラガーデンにて自然を満喫する事が出来ました。

かに一番木津店に立ち寄り、天然温泉の足湯を堪能しました。

会員相互の親睦を深め、親子で楽しい時間を過ごす事が出来ました。

養父



朝来

毎年、恒例行事だった「親子のつどい」ですが、この2年間は新型コロナの影響で中止となり、今年度久々に開催出来ました。

今年度は、子ども8名を含む29名が参加し、令和4年10月2日に、龍野界限と姫路の太陽公園にバス旅行に行きました。

久しぶりの外出で、普段はなかなか遠出が出来なかったり、個人では行くことが無い場所だったため、親子で楽しい一日を過ごすことが出来ました。

例年親子日帰りツアーを開催しています。今年は令和4年10月16日NIFREL & EXPOCITYを目的地に、26名が参加してくれました。参加者からは「子ども連れで大阪まで行くのは難しいので、よかった」「初めてNIFREL&EXPOCITYに行けて楽しかった」「楽しい思い出が出来てよかった」など喜びの声が聞かれました。短い時間でしたが、楽しんで過ごしていただきました。

南あわじ



## 令和4年度 兵庫県母子・寡婦福祉大会

令和4年11月20日(日)、兵庫県民会館けんみんホールで「令和4年度 兵庫県母子・寡婦福祉大会」を開催しました。

まだ新型コロナウイルスの影響で、マスク着用、手指の消毒などの徹底、オンライン形式の参加もありましたが、今回は近畿各地区の会長にもご臨席いただき、少しずつではありますが、活気が戻ってきました。

第1部は、藤田智子副理事長の開会の言葉に始まり、心で歌う「母に幸あれ」、後藤和子理事長挨拶の後、豊岡市婦人共励会中島千寿恵元会長と、南あわじ市婦人共励会濱口文子会長に感謝状が授与されました。

その後、兵庫県齋藤元彦知事のご祝辞、全国母子寡婦福祉

団体協議会藤田君子理事長のメッセージに続き、ご臨席の方々からのご祝辞をいただき、2022年度「夢を応援基金『ひとり親家庭支援奨学金制度』」に合格者と別の合格者の母親の体験発表を行い、第1部を終了しました。

第2部では、臨床発達心理士・大阪こども専門学校講師西山直子氏による「ヤングケアラーについて」の講演をいただきました。

その後、大会決議、大会申し合わせに賛同をいただき、無事に大会が終了しました。

令和5年度は近畿地区母子寡婦福祉研修大会の当番県です。みんなで近畿各地区の方をお迎えしたいと思います。



加東市



佐用町



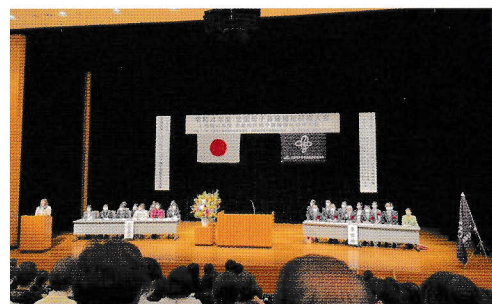
神崎郡

## 令和4年度 全国母子寡婦福祉研修大会・近畿地区母子寡婦福祉研修大会

令和4年11月5日に滋賀県ピアザ淡海において令和4年度全国母子寡婦福祉研修大会及び近畿地区母子寡婦福祉研修大会が開催され、兵庫県からはリモートによる参加者を含め54名が参加しました。

厚生労働省子ども家庭局による行政説明はオンデマンド配信で、研修討議では全国6地区の代表発表が県立広島大学の田中聡子教授のコーディネートにより壇上とリモートとで行われました。

引き続き田中聡子教授による「コロナ禍におけるひとり親家庭への新たな支援」の講演と滋賀県の取組事業が発表され、決議、大会宣言を採択し、次年度開催の兵庫県婦人共励会・後藤理事長の閉会の言葉で終了しました。



一般財団法人兵庫県婦人共励会

2023 EVENT



令和5年度  
行事予定

行事名	日時	場所
近畿地区母子寡婦福祉研修大会 兵庫県母子寡婦福祉大会	令和5年10月15日(日)	兵庫県民会館 けんみんホール
全国母子寡婦福祉研修大会	令和5年11月18日(土)・19日(日)	長崎県 アルカスSASEBO

令和5年度は兵庫県が近畿地区母子寡婦福祉研修大会の担当です。近畿各地から来られる方のおもてなしにご協力をお願いします。

相談  
窓口

離婚 相続 慰謝料 養育費

経験豊富な女性弁護士が、母子・父子家庭、寡婦の方の法律相談(離婚、相続、慰謝料、養育費等)に対応します。  
ご相談希望の方は、お住まいの市健康福祉事務所(政令市と中核市を除く)、町にお住まいの方は県健康福祉事務所の母子・父子自立支援員までお問い合わせください。

相談方法

①月曜日～金曜日(祝日、年末年始等は除く)  
10:00～17:00  
於：各県健康福祉事務所、市福祉事務所

②毎月第4土曜日(祝日、年末年始等は除く)  
13:00～17:00  
於：兵庫県婦人共励会  
(場合によって、日程が変更される場合もありますので、事前に連絡してください)

兵庫県 母子だより ひとり親 Hyogo

一般財団法人兵庫県婦人共励会

神戸市中央区下山手通5丁目7-11(母子会館) Tel.078-341-7372 Fax078-341-7384

ご要望等がございましたら下記まで

ホームページ  
<https://hyougoboshi.com>

メールアドレス  
[hyougoboshi@titan.ocn.ne.jp](mailto:hyougoboshi@titan.ocn.ne.jp)

ブログ  
<http://blog.goo.ne.jp/boshikaikan>

ホームページ



メール



LINE

